



栗国幼小中学校等改築工事（沖縄県栗国島）※PC躯体工事

## 第69期 中間株主通信

平成28年4月1日～平成28年9月30日

 株式会社 ピーエス三菱

証券コード：1871

# 株主の皆様へ

当社グループは、PC業界のトップランナーとして、グループ力を結集し、新たな事業領域にチャレンジしてまいります。

これからも社会の発展に尽くし、高度な社会資本の整備や地球環境の保全に貢献する企業として「ピーエス三菱」は創造し続けてまいります。

代表取締役社長  
社長執行役員

藤井 敏道



## ▶ 当第2四半期の事業環境について

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。「中間株主通信」をお手元にお届けするに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

平成28年度第2四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が持続し、中堅・中小企業においても、政府の経済対策効果等から業績は持ち直しており、緩やかな景気の回復基調が続いております。しかしながら、消費支出は依然として堅調とは言えず、海外においては、英国のEU離脱問題や、中国をはじめとする新興国や資源国の景気の下振れによる影響が懸念され、先行き不透明な状況にあります。

当社が属する建設産業におきましては、一般的に追い風と言われており、国策である「国土強靱化政策」に沿った防災・減災はもとより、インフラ老朽化対策等の公共投資が継続し、景気回復に伴う民間設備投資も底堅くありました。また、公共・民間を問わず、東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れた大型プロジェクト等の発

注増により、企業収益は全般的に好調に推移しております。

一方で、他社の橋梁落下事故の影響による工期延伸や慢性的な人手不足による労務費や建設コストの高騰等の懸念要因もあり、当社を取り巻く事業環境は決して楽観できるものではございません。

また、当社土木部門の主力であるPC業界においては、新設橋梁工事が減少し、更新・メンテナンス工事の需要が増加していく傾向にあり、当社グループもこのような社会のニーズに合わせて変化していくことが喫緊の課題となっております。

## ▶ 当第2四半期の概況ならびに業績について

このような経済状況のもと、当社はPC技術を基軸として、橋梁に代表される公共工事を中心とした「土木事業」と民間工事を中心とした「建築事業」を2本柱として、PC技術の適用範囲を広げて新しい分野を開拓することで他社との差別化を図り、「PC業界のトップランナー」として企業の「安定経営」に取り組んでまいりました。

平成28年度第2四半期累計期間の連結受注高は、468億67百万円（前年同期525億96百万円 前年同期比10.9%減少）となりました。連結売上高につきましては、391億43百万円（前年同期425億99百万円 前年同期比8.1%減少）となりました。損益の状況につきましては、連結営業利益6億52百万円（前年同期10億7百万円 前年同期比35.2%減少）、連結経常利益6億74百万円（前年同期9億78百万円 前年同期比31.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億1百万円（前年同期7億65百万円 前年同期比34.4%減少）となりました。

中間配当金につきましては無配とさせていただき、期末におきまして普通株式1株あたり年間8円の配当とさせていただく予定です。

## 今後の取り組みについて

当社といたしましては、引き続き「安定経営」を目指すとともに、近い将来、東京オリンピック・パラリンピックが終了する頃には、再び建設業に向かい風の時代が到来すると想定されることから、他社より一歩先を見越した経営に取り組んでまいります。

また、経営環境の変化の備えとして、持続可能な成長を遂げるべく、10年後に当社が目指す姿を明確にした「長期経営ビジョン」を策定し、その長期ビジョン達成に向けた土台づくりとなる「中期経営計画2016」を今年度からスタートさせました。その目標達成に向けて、なお一層、社会から信頼される会社となるべく、当社グループ各社が連携し、取り組んでまいります。

当社の使命は自然災害に強い国土を造り、将来に残すことであります。「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という基本理念に基づき、コンプライアンスを徹底して、健全経営に努めるという「基本的な社会責任」を果たしながら、建設業という本業を通して積極的な社会貢献を行ってまいりたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りまして、今後ともより一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 長期経営ビジョン

### 10年後の目指す企業像

PCを核としたピーエス三菱ブランドを確立し、成長分野、新分野に挑戦する魅力あふれる企業集団を目指します。

- Action I いいものを作り続ける〔信頼〕
- Action II 成長分野をリードする〔成長〕
- Action III 新しいフィールドへ挑戦する〔挑戦〕
- Action IV グループの強みを活かす〔連携〕

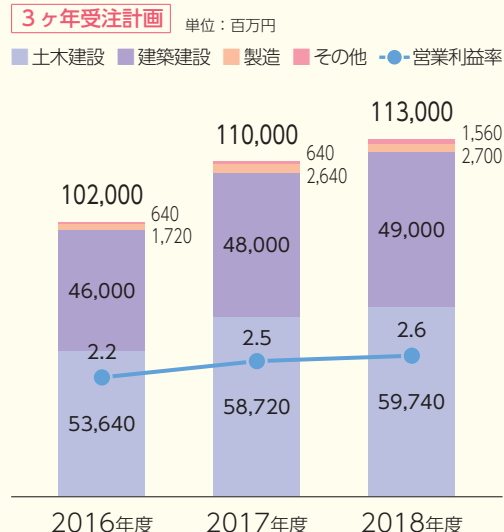
### 10年後の目指す数値計画

- 受注・売上規模1,300億円 + α（新規事業100億円）
- 営業利益率4%以上

## 中期経営計画2016（2016年度～2018年度）

### 戦略テーマ

さらなる信頼と新たな挑戦  
～変革へのファーストステージ2016～



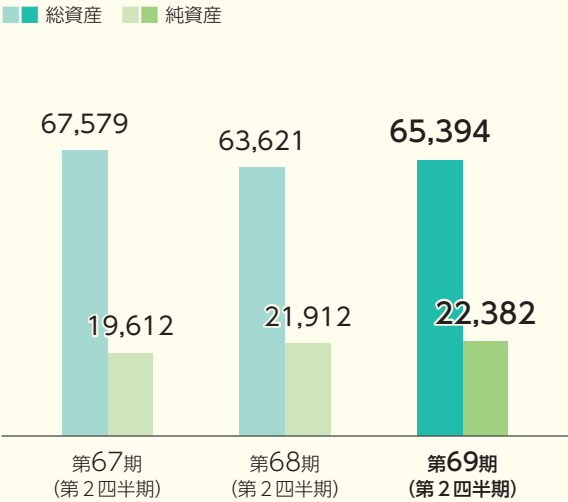
# 連結決算の概要

## 四半期連結貸借対照表（要旨）

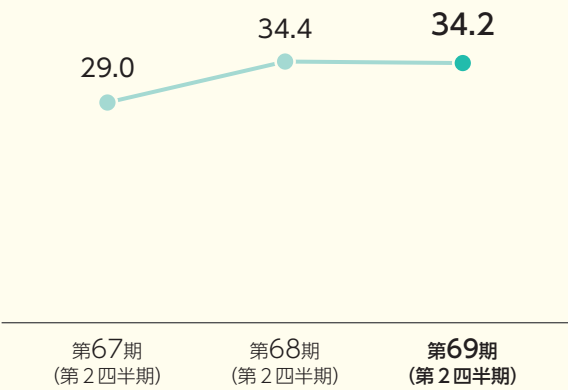
単位：百万円

| 科 目      | 前期末<br>平成28年3月31日現在 | 当第2四半期末<br>平成28年9月30日現在 |
|----------|---------------------|-------------------------|
| 流動資産     | 52,644              | 48,548                  |
| 固定資産     | 16,356              | 16,845                  |
| 有形固定資産   | 12,036              | 12,262                  |
| 無形固定資産   | 33                  | 226                     |
| 投資その他の資産 | 4,287               | 4,356                   |
| 資産合計     | 69,000              | 65,394                  |
| 流動負債     | 36,806              | 32,859                  |
| 固定負債     | 9,649               | 10,152                  |
| 純資産      | 22,544              | 22,382                  |
| 負債・純資産合計 | 69,000              | 65,394                  |

## 総資産／純資産 単位：百万円



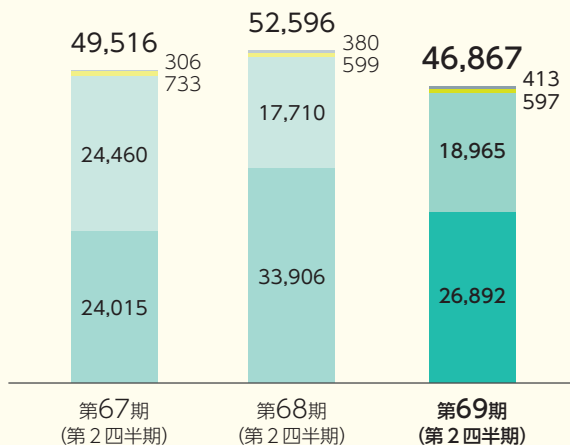
## 自己資本比率 単位：%



## 受注高（セグメント別）

単位：百万円

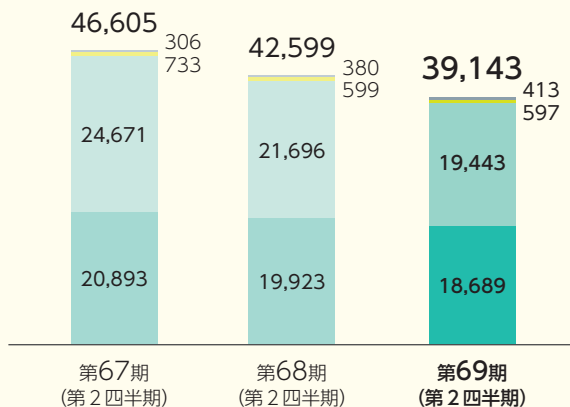
■ 土木建設 ■ 建築建設 ■ 製造 ■ その他



## 売上高（セグメント別）

単位：百万円

■ 土木建設 ■ 建築建設 ■ 製造 ■ その他



## 四半期連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

| 科 目                  | 前第2四半期<br>平成27年4月1日から<br>平成27年9月30日まで | 当第2四半期<br>平成28年4月1日から<br>平成28年9月30日まで |
|----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 売上高                  | 42,599                                | 39,143                                |
| 売上原価                 | 38,159                                | 34,818                                |
| 売上総利益                | 4,440                                 | 4,325                                 |
| 販売費及び一般管理費           | 3,432                                 | 3,673                                 |
| 営業利益                 | 1,007                                 | 652                                   |
| 経常利益                 | 978                                   | 674                                   |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 765                                   | 501                                   |

# ピーエス三菱グループのCSR活動

当社グループでは、CSRの基本活動方針として「リスクマネジメントの推進」「コンプライアンスの推進」「ステークホルダーコミュニケーションの推進」「地域社会への貢献」を掲げ、「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という基本理念の実現に向けて、PDCA（計画・実行・評価・改善）を実践し、CSR活動の充実、更なるステップアップを図るべく取り組んでおります。

## リスクマネジメント推進活動

当社の企業活動におけるリスクを洗い出して「リスク管理台帳」にまとめ、リスクの把握および対策を講じることで、リスクの回避、発生確率の低減に努めております。

## コンプライアンス推進活動

役員・社員一人一人のコンプライアンスに対する意識向上を図るため、研修会を開催する等、コンプライアンスに関する取り組みを継続的に実施しております。また、従業員および当社グループに勤務する者が匿名でも利用できる通報窓口（CSRなんでも相談室）を社内外（本社・弁護士事務所）に設け、研修会や部署内連絡会等で周知し、いつでも相談できる体制を整えております。



営業担当者向けコンプライアンス研修

## コミュニケーション推進活動

### 現場作業所における社会貢献活動

工事現場にて近郊の小学生を招待し、現場見学・体験学習を開催し、児童たちの土木工事への興味や関心をより一層高めることができました。

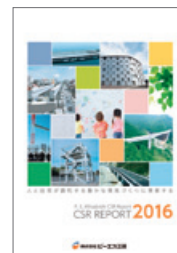
また、その他の工事現場でも近郊の住民の方々や幼稚園児、小・中学生を対象とした現場見学会や、技術系の学生の方を対象とした研修会を開催し、更には地域行事に参加する等の活動も行っております。



中孝子高架橋工事見学会：  
プレストレストコンクリート  
板の弾力を実体験

## CSR報告書2016

ステークホルダーの皆様へ当社のCSR活動に関する情報をご覧いただくため、当社ホームページにCSR報告書を掲載しております。ご一読いただければ幸いです。



アドレスはこちら ▶ <http://www.psmic.co.jp/csr/>

## PSMの橋守プロジェクト (当社地図システム上での点検データ管理)

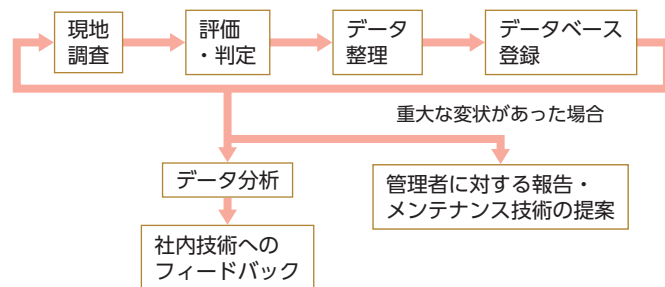
「橋守プロジェクト」とは、当社施工の既設PC橋の点検から診断までを技術系職員が一貫して実施する取り組みで、平成23年より本格的に始動しております。

現地調査および評価・判定した結果をデータベースとして登録し、社内技術へフィードバックすることが標準的な手順で、重大な変状があった場合には、道路管理者へ報告やメンテナンス技術を提案しています。

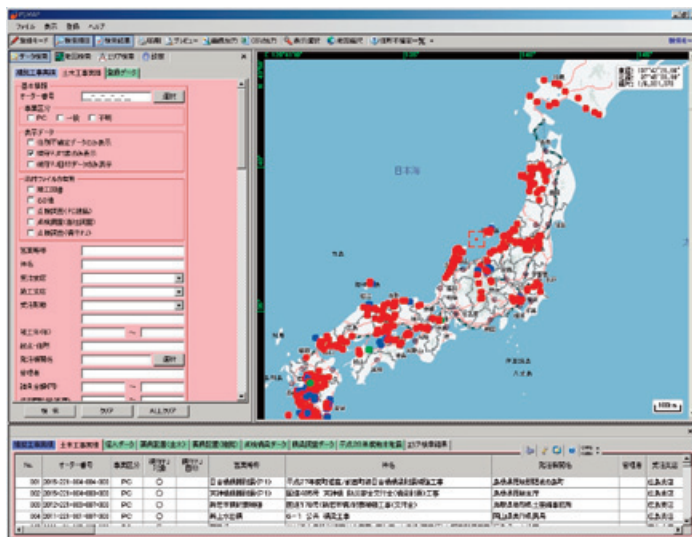
このプロジェクトで調査した橋梁は410橋となりました（平成28年10月時点）。それ以前に点検した橋梁も含めると、当社では約5,400橋分の点検データを保有していることになります。

更に、この度これらの点検データを全て当社の地図システム内のデータベースに統合し、施工資料・竣工図書などの資料も検索できるように改修しました。これにより、変状が見つかった場合、施工資料や竣工図書を原因推定や補修計画にスムーズに役立てることができるようになります。

今後は、これらの点検データや資料をさらに充実させていくよう取り組んでまいります。



実施手順のイメージ



当社地図システム

### 高圧架線による上空制限下での『押出し工法』

ー大型鋼製3主構造手延べ桁により広幅員に適應ー

しんだいまいけ  
(新大間池大橋：福岡県)

新大間池大橋は、県道筑紫野古賀線のバイパス整備工事の南側起点に位置し、橋長175m、最大幅員18.25mのPC 3径間連続2室箱桁橋です。

新大間池の上に架設を設置し、上空を通る22万ボルトの高圧架線に触れないように施工するため、『押出し工法』が採用されました。

本橋梁では、A2橋台後方に設けた主桁製作ヤード設備で7.2m～14.4mのブロックに分けて打継ぎしながら主桁を製作し、PC鋼材を緊張した後、橋脚上に設置した滑り支承上で主桁を滑らせて、順次押出す方法で施工されています。総重量約7,400tの主桁を押出すために、A2橋台に押出し用200tジャッキ4台を設置し、主桁にはジャッキからの力を伝えるための引張鋼材（28.6mmPC鋼より線×12本）を設置。また、幅員約15mの主桁前方を支えるため、大型鋼製3主構造手延べ桁（総重量約250t、長さ42.6m）を設置することで、架設時の主桁断面力を低減させています。

現在、平成28年度末の橋体完成に向けて、主桁架設作業を順調に進行中です。



#### 「けんせつ小町」活躍中

当現場では女性職員が常駐し、女性ならではの視点で鉄筋のピッチ割表を作成し、持ち前の明るい笑顔で現場の雰囲気をなごませてくれています。



### PCa床版に銅スラグ細骨材使用 (三菱マテリアル(株)直島独身寮：香川県)

近年、良質な天然骨材の減少、環境保全や資源の有効活用等の観点から「銅スラグ<sup>(※)</sup>細骨材」の利用が注目されています。

当社はこのような銅スラグ細骨材の有効性をふまえ、循環型社会の実現に向けて、三菱マテリアル(株)および宇部三菱セメント(株)の協力を得て、三菱マテリアル(株)直島独身寮のPCa床版用に銅スラグ細骨材を用いたコンクリート製品を当社グループとして初めて製造しました。

これを皮切りに三菱マテリアル(株)安全教育センターのPCa床版、更に同社九州工場ではプレストレストコンクリート造のPCa柱、PCa梁の構造部材に銅スラグ細骨材を使用し、現在施工中です（平成28年10月現在）。

銅スラグ細骨材は工業製品であり、良質な天然骨材の安定供給が不安視される昨今において、供給量および品質の両面で安定した材料として期待されます。



直島独身寮外観



直島独身寮に使用しているPCa床版



現在施工中の九州工場

#### ※銅スラグとは

天然砂の1.3倍程度と密度が大きく、材質は非常に硬い上に吸水率が小さく、粒度分布も安定した銅製錬の副産物です。各大学での試験の結果、コンクリートに使用した場合、乾燥収縮が非常に小さく、ひび割れしにくいとされています。

# 完成工事〔土木〕

## 一般県道秦野大井線 篠窪大橋新設（上部工）工事 〔神奈川県〕

本工事は、大井町篠窪地内の篠窪<sup>すいどう</sup>隧道から秦野市境までの狭隘区間を解消するため、県道708号バイパス整備事業の一環として計画されました。

大井町と秦野市を連絡する地域の交流・連携を支える幹線道路として期待されています。



## 露橋雨水幹線下水道築造工事 （その2）〔愛知県〕

本工事は、愛知県名古屋市中心部に位置し、降雨による浸水被害を最小化するための下水道工事です。

発進立坑の手前でシールドが完了しており、発進立坑から刃口推進（直径2.6m）の施工により管路を接続しました。この工事は、市内の浸水対策機能の向上を目的としています。



## 二見大橋 橋梁補修・耐震補強工事（その3） [ 兵庫県 ]

二見大橋耐震補強工事のうち、当社はこれまで上部工のグラウト再充填およびP 2 橋脚の耐震補強を実施してまいりました。

本工事でP 1 橋脚の耐震補強をPCコンファインド工法にて施工したことにより、橋脚耐震補強はすべて完了しました。

## 中国自動車道 吹矢谷橋他 1 橋床版補修工事 [ 岡山県～広島県 ]

本工事は、中国自動車道東城IC～庄原IC間に位置する橋長283.5mの鋼（4 + 3）径間連続鈹桁橋です。

経年劣化や冬季の凍結防止剤散布による塩害により、床版の劣化が顕著になってきたため、ライフサイクルコスト最小化を目指したプレキャストPC床版への全面取替工事が実施されました。



## 完成工事 [ 建築 ]

### 社会福祉法人愛和福祉会 セボラ・コリーナ サポート inサポート新築工事 [ 北海道 ]

本物件は、札幌市の丘珠エリアに新築された特別養護老人ホームです。RC造3階建て、延床面積約4,500㎡、特養居室80室、障がい者共同生活援助事業所14室で計画され、設計・施工一括発注で公募型プロポーザル方式により受注しました。

各階の共同生活室に場所打ちPC梁（ポストテンションPC工法）が採用されたことにより、柱と柱の間に広い空間を確保することができ、より開放感ある明るい建物となっています。



### シティハウス蔵前レジデンス [ 東京都 ]

本物件は、都心に近接した隅田川の潤いに恵まれた街、蔵前に佇む地上14階建てのマンションです。

ファサードに木調ルーバーを設置し、「和」の街の風景に深みを添えるデザインとなっています。柱を居住空間の外に出すアウトフレーム工法やバルコニー手摺にガラスを使用する等、設計を工夫することで開放的な住環境を創出しました。





## 府中市民病院改築工事

〔広島県〕※PC躯体工事

本物件は、「地域の高齢者の生活を支える地域医療の拠点を目指す」という理念実現のため、築50年の総合病院の建て替えが計画されました。

平時だけではなく、災害時の医療拠点としての機能も求められるため、高耐久性と地震時の高耐震性確保および復元力に富むプレストレストコンクリート（PC）造が採用されました。



## 佛教大学紫野キャンパス 整備事業に伴う新棟建設工事

〔京都府〕※PC躯体工事

本物件は、佛教大学開学100周年記念事業の一環として紫野キャンパスに計画された礼拝堂です。

ドーム屋根はPC造、外壁はトラスウォールにタイル貼りで3次元の曲面を表現し、内装は音響設計をもとに計画されています。

■ 会社概要

|        |                                                                    |
|--------|--------------------------------------------------------------------|
| 商 号    | 株式会社ピーエス三菱<br>P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.               |
| 設 立    | 昭和27年3月1日                                                          |
| 資 本 金  | 4,218,500,000円                                                     |
| 従業員数   | 単体：1,055名<br>連結：1,674名                                             |
| 本社・支店  |                                                                    |
| 本 社    | 〒104-8215<br>東京都中央区晴海二丁目5番24号<br>(03) 6385-9111                    |
| 東京土木支店 | 〒104-8572<br>東京都中央区晴海二丁目5番24号<br>(03) 6385-9511                    |
| 東京建築支店 | 〒104-8572<br>東京都中央区晴海二丁目5番24号<br>(03) 6385-9611                    |
| 東北支店   | 〒980-0811<br>宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号<br>東菱ビル<br>(022) 223-8121         |
| 名古屋支店  | 〒460-0002<br>愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号<br>キリックス丸の内ビル<br>(052) 221-8486 |
| 大阪支店   | 〒530-6027<br>大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号<br>OAPタワー<br>(06) 6881-1170       |
| 広島支店   | 〒730-0036<br>広島県広島市中区袋町4番25号<br>明治安田生命広島ビル<br>(082) 240-7011       |
| 九州支店   | 〒810-0072<br>福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号<br>東芝福岡ビル<br>(092) 739-7001        |

■ 役 員

取締役および監査役

|           |         |
|-----------|---------|
| 代表取締役社長   | 藤 井 敏 道 |
| 代表取締役副社長  | 森 拓 也   |
| 代 表 取 締 役 | 塚 原 明 彦 |
| 代 表 取 締 役 | 黒 柳 辰 弥 |
| 取 締 役     | 小 山 靖 志 |
| 取 締 役     | 居 村 昇   |
| 取 締 役     | 鳥 井 博 康 |
| 取 締 役     | 小 野 直 樹 |
| 取 締 役     | 不死原 正 文 |
| 常 勤 監 査 役 | 朝 倉 浩   |
| 常 勤 監 査 役 | 大 内 辰 夫 |
| 常 勤 監 査 役 | 鈴 木 義 晃 |

(注) 取締役鳥井博康、小野直樹、不死原文の3氏は社外取締役であります。  
監査役朝倉浩、大内辰夫の両氏は社外監査役であります。

執行役員 (※は取締役兼務)

|                                       |         |
|---------------------------------------|---------|
| ※ 社 長 執 行 役 員 (全股統理)                  | 藤 井 敏 道 |
| ※ 副社長執行役員 (技術本部長・安全品質<br>環境担当兼海外事業担当) | 森 拓 也   |
| ※ 常 務 執 行 役 員 (土木本部長<br>兼高速鉄道推進室長)    | 塚 原 明 彦 |
| ※ 常 務 執 行 役 員 (建築本部長)                 | 黒 柳 辰 弥 |
| 常 務 執 行 役 員 (東京土木支店長)                 | 蔵 本 修   |
| ※ 執 行 役 員 (管理本部長)                     | 小 山 靖 志 |
| ※ 執 行 役 員 (建築本部副本部長<br>兼建築企画部長)       | 居 村 昇   |
| 執 行 役 員 (建築本部副本部長<br>兼建築企画部長)         | 正 木 慎 一 |
| 執 行 役 員 (大阪支店長)                       | 川 原 利 朗 |
| 執 行 役 員 (九州支店長)                       | 宮 脇 裕 明 |
| 執 行 役 員 (建築本部副本部長)                    | 岡 島 裕   |
| 執 行 役 員 (東京建築支店長)                     | 山 田 宏 志 |
| 執 行 役 員 (名古屋支店長)                      | 森 勝 茂   |

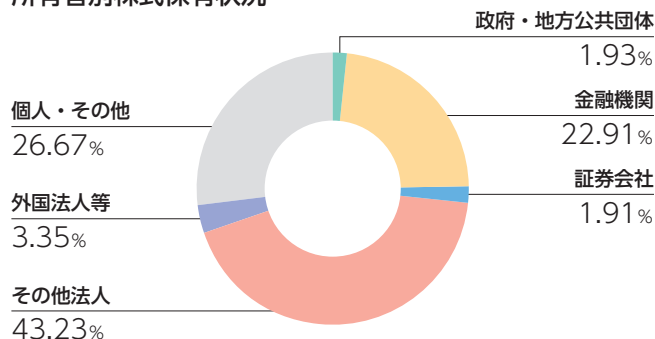
## 株式の状況

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 11,000万株    |
| 発行済株式の総数 | 47,486,029株 |
| 株主数      | 10,013名     |

## 大株主

| 株 主 名                                                    | 当社への出資状況   |         |
|----------------------------------------------------------|------------|---------|
|                                                          | 持株数(株)     | 出資比率(%) |
| 三菱マテリアル株式会社                                              | 15,860,354 | 33.40   |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託<br>太平洋セメント 再信託受託者<br>資産管理サービス信託銀行株式会社 | 4,491,300  | 9.45    |
| 住友電気工業株式会社                                               | 1,834,800  | 3.86    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行<br>株式会社(信託口)                            | 1,805,700  | 3.80    |
| 日本マスタートラスト信託銀行<br>株式会社(信託口)                              | 1,467,800  | 3.09    |
| 岡山県                                                      | 839,740    | 1.76    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社<br>(役員報酬BIP信託口・75949口)                | 570,900    | 1.20    |
| 三菱地所株式会社                                                 | 496,000    | 1.04    |
| ピーエス三菱従業員持株会                                             | 405,695    | 0.85    |
| 株式会社大林組                                                  | 400,000    | 0.84    |

## 所有者別株式保有状況



## ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主の皆様向けの情報として、財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

アドレスはこちら

<http://www.psmic.co.jp/>



当社HP



## 株主メモ

|                        |                                                                                                                                                |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                              |
| 定時株主総会                 | 6月                                                                                                                                             |
| 同総会議決権行使株主確定日          | 3月31日                                                                                                                                          |
| 期末配当金受領株主確定日           | 3月31日                                                                                                                                          |
| 中間配当金受領株主確定日           | 9月30日                                                                                                                                          |
| 公告の方法                  | 電子公告により行う<br>公告掲載URL <a href="http://www.psmic.co.jp/">http://www.psmic.co.jp/</a><br>ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。 |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                  |
| 同連絡先                   | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>TEL 0120-232-711（通話料無料）                                                                  |
| 上場証券取引所                | 東京証券取引所                                                                                                                                        |
| 単元株式数                  | 100株                                                                                                                                           |

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### (ご案内)

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

#### 【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

○法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

#### 〈主な支払調書〉

- ※配当金に関する支払調書
- ※単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

#### 【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

- 証券口座にて株式を管理されている株主様は、お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様は、上記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 表紙の説明



本物件は、沖縄県の離島「<sup>あぐにじま</sup>粟国島」に幼小中学校等として建設されました。このうち、小中学校棟の旧校舎は、築37年（昭和54年竣工）を経過し、塩害による経年劣化や耐震強度が低い等の理由により建替。本校舎は、PCaPc造一部RC造、当社でPC躯体工事一式を請負いました。柱、梁、床版のPCa部材を沖縄本島で製作し、海上輸送にて現地に運搬し、組み立てました。

## コーポレートマーク



生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。

また、オレンジが大地（＝土）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。